

A1585 国鉄 10系客車 急行「出雲」 7両基本セット

予価 : 17,000円 (税別)

JANコード: 124376 カート内入数 : 12

A1586 国鉄 10系客車 急行「出雲」 4両増結セット

予価 : 12,300円 (税別)

JANコード: 124383 カート内入数 : 12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材: ABS樹脂製 対象年齢: 14歳以上 ブックケース入)
実車	1955昭和30年、国鉄では拡大する旅客需要に対応するために新型客車の製造を開始しました。これが10系客車です。10系客車の大きな特徴として、従来の客車と比較して大幅な軽量化が達成された事が挙げられます。1965昭和40までにグループ全体で100両以上が製造され、全国各地で活躍しました。1970年代に入ってから次第に活躍の場を地方線区へと移し始め、最終的に1985昭和60年までに全車の営業を終了しました。急行「出雲」は東京と山陰地方を結んでいた急行列車です。1951昭和26年に登場した急行「いづも」がその前身で、1964昭和39年10月以降は寝台車・座席指定車を中心とした長編成となりました。1966昭和41年のDD55登場以降は新鋭機関車との組合せが多くファンを魅了しましたが、1972昭和47年には寝台特急「出雲」へ格上げされる形で消滅しました。
商品概要	マイクロエース客車シリーズの更なる充実 往年の寝台急行出雲を製品化。座席車 + 寝台車の混成編成を再現。 別売り幅広室内灯取り付け可能 基本セット(A1585)と増結セット(A1586)の組み合わせでフル編成になります。

車体はブルー。寝台車・食堂車は裾絞りのある姿

・1号車～7号車は浜田 - 東京を運転。

8号車～11号車は途中の米子 - 東京間連結

浜田 - 京都間はDD54が牽引していました



A1585 国鉄10系客車 急行「出雲」



A1586 国鉄10系客車 急行「出雲」



編成図

A1585

A1586

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ナハ711-6	ナハ11-48	ナハ11-50	オハネ12-28	オハネ12-25	オハネ10-63	キ762-203	オハネ12-68	オシ17-3	オハネ12-29	オハネ712-56

ライト  
浜田ライト  
東京 米子ライト  
東京

オプション 幅広室内灯 : G0001/G0002/G0003/G0004 オシ17のみ狭幅室内灯 : G0005/G0006/G0007/G0008

付属品 行先シール